



就業とビジネス

令和7年3月11日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

就業が遊びになるとき、事業は幻を求め、結果を与えることはできない。これが事業の根本性である。それにおいて企業がそれら基盤とともに、最も真摯に未来を模索することが、正しい経営なのである。

これは虚業は、決して現実を求めることができないということであり、唯一これらの真剣さが、企業を可能とするものである。

これらは日本における企業の根本性であり、それらがすべてのビジネスの構築を与えるルールであり合意なのである。

これらもっともな真剣さが、経営における唯一の現実である。これを失うとき、企業が必ず自己を失うのである。

またこれら真剣さが、結果という未来を実現するのである。

これは企業が決して虚業を求めてはいけないというもっともな事業における学びなのである。

これら事業の育成は、真摯な判断と真剣な決定において、唯一経営が成り立つのである。

これらが企業社会の合意であることは、それらが唯一企業の永続を実現できるからなのである。

もっともな真剣さが、未来における企業の在り方を模索し、それを可能とする。

これらは企業がその事業の求めるとき、それら現実を得て、それら未来が唯一可能となることを意味するのである。

経営者の資質は、唯一これによるものである。それが唯一企業を可能とできるのである。